

# **市川市の防災施策 に関する提言書**

平成 28 年 12 月 26 日

**防災女性プロジェクト**



# 目 次

|                          |          |
|--------------------------|----------|
| <b>1 プロジェクトの経緯</b> ..... | <b>1</b> |
|--------------------------|----------|

|                           |          |
|---------------------------|----------|
| <b>2 プロジェクトの進め方</b> ..... | <b>2</b> |
|---------------------------|----------|

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| (1) 防災女性プロジェクト（BJ☆Project）の選出方法 ..... | 2 |
| (2) 防災女性プロジェクト（BJ☆Project）の検討方法 ..... | 3 |

|                                  |          |
|----------------------------------|----------|
| <b>3 市川市の防災施策の見直しに関する提言</b> .... | <b>5</b> |
|----------------------------------|----------|

- |                            |    |
|----------------------------|----|
| (1) 防災まちづくりグループの検討結果 ..... | 5  |
| (2) 備蓄グループの検討結果 .....      | 8  |
| (3) 避難所グループの検討結果 .....     | 12 |
| (4) その他の防災施策に関する提言 .....   | 16 |

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| <b>4 まとめ</b> ..... | <b>17</b> |
|--------------------|-----------|

|                   |           |
|-------------------|-----------|
| <b>5 資料</b> ..... | <b>18</b> |
|-------------------|-----------|

- |                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| (1) 防災女性プロジェクト・チームの設置等に関する要綱 .....    | 18 |
| (2) 防災女性プロジェクト（BJ☆Project）の活動内容 ..... | 19 |

# 1 プロジェクトの経緯

平成 7 年 1 月 17 日に兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）が発生して以降、平成 16 年 10 月 23 日に新潟県中越地震、平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災、平成 28 年 4 月 14 日・16 日に連続して震度 7 が発生した平成 28 年熊本地震と最大震度 7 を記録する巨大地震が頻発しています。

また、平成 26 年 8 月には広島県で甚大な土砂災害が発生したほか、平成 27 年 9 月には関東東北豪雨が発生し、茨城県常総市で鬼怒川の堤防を決壊させ、甚大な被害をもたらしました。

過去のこういった大規模災害時には、避難所内において女性や高齢者、乳幼児、障がい者に対する配慮の事前の対策が行われていなかったことに加え、被災による混乱もあり、様々な課題が浮き彫りとなりました。

国は、東日本大震災の課題を踏まえ、平成 25 年 6 月に災害対策基本法の改正を行ったほか、この法改正を受け、「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」などの被災者支援の指針となるガイドラインなどの公表を行ってまいりました。

本市では、国から示された指針やガイドラインなどを参考に平成 24 年度に宿泊型の避難所訓練を実施や避難所マニュアルを整備したほか、平成 25 年度には「市川市業務継続計画」の策定や平成 26 年度には改正災害対策基本法に合わせた避難場所・避難所の見直しを行うなど様々な災害への備えを実施してまいりました。

今回、これまで本市が推進してきた災害への備えや災害発生後の避難所運営及び被災者支援のあり方などの防災施策をもう一度女性の視点から再検証し、本市の防災施策にダイレクトに反映するため「防災女性プロジェクト（BJ☆Project）」を平成 28 年 1 月に立ち上げ、活動を行うこととしました。

## 2 プロジェクトの進め方

### (1) 防災女性プロジェクト（BJ☆Project）の選出方法

市川市女性職員の中から公募を行い、第一次募集で 15 名を、その後追加メンバーとして 5 名を加え、合計 20 名をプロジェクトメンバーとした。

#### ○防災女性プロジェクト（BJ☆Project）メンバー

|    | 部       | 課        | 職位   | 氏名     | グループ    |
|----|---------|----------|------|--------|---------|
| 1  | 経済部     | 商工振興課    | 副主幹  | 村上 理恵  | 防災まちづくり |
| 2  | 福祉部     | 介護福祉課    | 副主幹  | 玉置 雄子  | 防災まちづくり |
| 3  | 保健部     | 国民健康保険課  | 主任   | 北原 仁美  | 防災まちづくり |
| 4  | 街づくり部   | 都市計画課    | 主査   | 草野 薫   | 防災まちづくり |
| 5  | 道路交通部   | 道路建設課    | 副主幹  | 本間 亜矢子 | 防災まちづくり |
| 6  | 消防局     | 南消防署     | 主査   | 東 真樹子  | 防災まちづくり |
| 7  | 企画部     | 広報広聴課    | 主事   | 小松 愛実  | 備蓄      |
| 8  | 財政部     | 固定資産税課   | 主任   | 及川 季江  | 備蓄      |
| 9  | 文化スポーツ部 | 文化振興課    | 主事   | 長島 希   | 備蓄      |
| 10 | 文化スポーツ部 | スポーツ課    | 主事   | 杉本 真幸  | 備蓄      |
| 11 | 市民部     | 市民課      | 副主幹  | 金子 優子  | 備蓄      |
| 12 | 環境部     | 環境保全課    | 主査   | 友光 晶子  | 備蓄      |
| 13 | 学校教育部   | 教育センター   | 主査   | 武藤 あゆみ | 備蓄      |
| 14 | こども政策部  | 子育て支援課   | 主任   | 伊原 陽子  | 避難所     |
| 15 | 保健部     | 保健医療課    | 主事   | 齋藤 美佳  | 避難所     |
| 16 | 保健部     | 健康支援課    | 主幹   | 五十嵐 友子 | 避難所     |
| 17 | 清掃部     | クリーンセンター | 副主幹  | 高松 裕子  | 避難所     |
| 18 | 街づくり部   | 設計監理課    | 主任主事 | 荒幡 清夏  | 避難所     |
| 19 | 行徳支所    | 福祉課      | 主事   | 渡邊 珠未  | 避難所     |
| 20 | 生涯学習部   | 教育施設課    | 主事   | 白鳥 知実  | 避難所     |



## (2) 防災女性プロジェクト (BJ☆Project) の検討方法

### ① 基本的な考え方

東日本大震災や熊本地震では、避難所にやってきた女性や高齢者、障がい者、乳幼児などへの対策が十分でなかったことなどの課題が浮き彫りとなった。そこで本市の災害対策の強化を図るため、女性の視点から災害への備えや災害発生後の避難所運営、被災者支援のあり方や復旧対策などに関することについて検討を行う。

### ② 重点検討項目

本市の災害対策の再検証を行う上で、以下の3項目について重点的に検討を行った。

(ア) 防災まちづくりに関すること、(イ) 備蓄に関すること、(ウ) 避難所運営に関すること

### ③ 検討方法

本プロジェクトは、様々な訓練や視察・体験を実施し防災の基礎知識を習得する「体験学習期間」と、重点検討項目を研究するグループ研究や関係団体との意見交換を行う「研究期間」に分けて活動を行った。

#### 【年間スケジュール】

##### ○体験学習期間（訓練・視察・体験）

|      | 日時       | テーマ                   |
|------|----------|-----------------------|
| 第1回  | 1月25日(月) | オリエンテーション             |
| 第2回  | 2月12日(金) | 災害体験（西部防災センター視察）      |
| 第3回  | 3月24日(木) | 資機材取り扱い訓練             |
| 第4回  | 4月15日(金) | 応急救護訓練                |
| 第5回  | 3月25日(金) | 被災地視察（宮城県岩沼市視察）       |
| 第6回  | 5月17日(火) | 初期消火訓練                |
| 第7回  | 5月7日(土)  | 防災特別講演会               |
| 第8回  | 5月31日(火) | 自衛隊1日入隊（陸上自衛隊松戸駐屯地視察） |
| 第9回  | 6月27日(月) | 気象予報体験（ウェザーニューズ社視察）   |
| 第10回 | 7月5日(火)  | 水防訓練（ボートによる避難訓練）      |
| 第11回 | 7月21日(木) | 避難者体験（非常食の試食など）       |
| 第12回 | 7月26日(火) | 被災地視察（千葉県旭市視察）        |
| 第13回 | 8月18日(木) | 防災施設視察（そなエリア視察）       |
| 第14回 | 8月25日(木) | 総合火力演習視察              |
| 第15回 | 8月28日(日) | 総合防災訓練（市民啓発）          |

○研究期間（グループ研究・意見交換）

|        | 日時           | テーマ              |
|--------|--------------|------------------|
| 第 16 回 | 9 月 20 日(火)  | グループ研究           |
| 第 17 回 | 9 月 30 日(金)  | グループ研究           |
| 第 18 回 | 10 月 14 日(金) | グループ研究           |
| 第 19 回 | 10 月 28 日(金) | 意見交換会（市川市赤十字奉仕団） |
| 第 20 回 | 11 月 11 日(金) | グループ研究           |
| 第 21 回 | 11 月 22 日(火) | グループ研究           |
| 第 22 回 | 12 月 1 日(木)  | 市長提言の検討          |
| 第 23 回 | 12 月 16 日(金) | 市長提言の検討          |
| 第 24 回 | 12 月 26 日(月) | 市長提言             |

【主な活動の様子】



（第 3 回）資機材取り扱い訓練



（第 10 回）水防訓練



（第 18 回）グループ研究



（第 19 回）意見交換会

### 3 市川市の防災施策の見直しに関する提言

#### (1) 防災まちづくりグループの検討結果

##### 【現状・課題】

##### ○北西部

##### ・市の現状

本地域の地形は、住宅地が広がる国分・国府台周辺の台地、地域南側の平地と千葉街道沿いの市川砂州と呼ばれるやや高い地形で形成されている。住宅地の割合が多く、住宅が主体となった地域で、中でも JR 総武線と京成本線沿線の住宅密度が高くなっている。また真間川、国分川、春木川といった河川が存在する。



##### ・BJ☆Project が考える課題

| 地震                                                | 大雨                                               | 高潮      | 崖崩れ                          | 火災                                    |
|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------|---------|------------------------------|---------------------------------------|
| 曾谷、宮久保、菅野地区は建物被害の危険性が高い。真間川、国分川、春木川周辺は液状化の危険性が高い。 | 真間川、国分川、春木川周辺は浸水被害が発生する可能性がある。市川地区では内水氾濫の危険性がある。 | 危険性は低い。 | 国府台、須和田、真間、国分地区では崖崩れの危険性がある。 | 須和田、曾谷、菅野、宮久保地区は狭あい道路が多く、延焼火災の危険性がある。 |

##### ○北東部

##### ・市の現状

本地域の地形は、梨園・山林などが広がる北部の大地と市街化が進んだ大柏川沿いの平地、千葉街道沿いの市川砂州で形成されている。

住宅地と田園の割合が主体の地域で、大柏川、派川大柏川、真間川といった河川も存在する。



##### ・BJ☆Project が考える課題

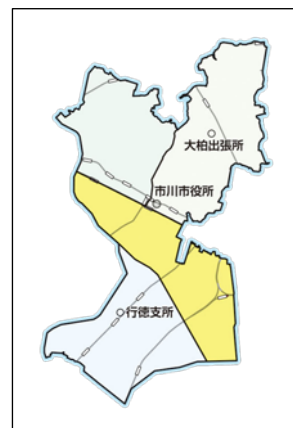
| 地震                                                   | 大雨                                                  | 高潮      | 崖崩れ                          | 火災                                            |
|------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------|------------------------------|-----------------------------------------------|
| 東菅野、中山、鬼越地区は建物被害の危険性が高い。真間川、派川大柏川、大柏川周辺では液状化の危険性がある。 | 真間川、派川大柏川、大柏川周辺では浸水被害の可能性が高い。八幡、北方町地区では内水氾濫の危険性が高い。 | 危険性は低い。 | 宮久保、若宮、大野町、大町地区では崖崩れの危険性がある。 | 中山、若宮地区は延焼火災の危険性がある。狭あい道路が多く消防車が入っていけない場所もある。 |



## ○中部

### ・市の現状

本地域の地形は、千葉街道沿いの市川砂州と沖積平野であり、概ね平坦な地形であり、東京湾に面する臨海部は埋立地となっている。住宅地、商業地、工業流通業務地の割合が多く、田畑などの自然的な土地利用が少ない、都市化の進んだ地域となっている。真間川、秣川、高谷川といった河川も存在する。



### ・BJ☆Project が考える課題

| 地震                                                   | 大雨                                                             | 高潮・津波                                                       | 崖崩れ     | 火災                |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------|-------------------|
| 平田、南八幡、鬼高、高谷は建物被害の危険性が若干高い。田尻、高谷、原木、二俣地区は液状化の危険性が高い。 | 江戸川決壊時には、地区全体が浸水する可能性がある。集中豪雨では、市川南、鬼高、田尻、原木、高谷地区で内水氾濫の危険性が高い。 | (高潮) 二俣新町、高谷地区は浸水被害の可能性がある。<br>(津波) 津波襲来時には、沿岸部から避難する必要がある。 | 危険性は低い。 | 住宅が密集しており、危険性が高い。 |

## ○南部

### ・市の現状

本地域の地形は、沖積平野と埋立地から形成され、江戸川・旧江戸川や東京湾、行徳近郊緑地などの自然や水辺が豊かな土地となっている。住宅地と工業地が主体であり、道路や公園・広場等のオープンスペースの占める割合が他の地域より高い。



### ・BJ☆Project が考える課題

| 地震                                     | 大雨                                                                | 高潮・津波                                                           | 崖崩れ    | 火災                        |
|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|--------|---------------------------|
| 旧行徳街道沿いは建物被害の危険性が高い。南部地区全体で液状化の危険性が高い。 | 江戸川決壊時には、南部地区全体が浸水する可能性がある。ゲリラ豪雨等の集中豪雨では、相之川、香取、塩焼地区で内水氾濫の危険性がある。 | (高潮) 塩浜地区などの東京湾沿岸部は浸水被害の可能性がある。<br>(津波) 越水により南行徳の一部で浸水する可能性がある。 | 危険性なし。 | 旧行徳街道沿いは住宅が密集しており、危険性が高い。 |

## 【防災女性プロジェクト（BJ☆Project）からの提言】

### ○地域の防災力の向上について

- ① 大地震発生時の延焼火災の危険性を軽減させるため感震ブレーカー設置を推奨すること。
- ② 地域の防災上の危険箇所を把握するため自治会と行政が協力して防災パトロールを行うことを検討すること。
- ③ 固定資産税などの納税通知書に耐震助成の案内を同封し、啓発するようを検討すること。
- ④ 新たにできる道の駅に防災学習・体験ができるようなスペースを整備するようを検討すること。
- ⑤ 子どもの防災意識向上を図るため子どもが参加できる防災訓練を実施すること。
- ⑥ 高齢者や子どもが見てもわかりやすい防災ブックの作成を検討すること。
- ⑦ 火災の危険性を軽減させるため消火器や投てき型消火剤の購入等に対する助成を検討すること。

### ○施設の整備について

- ① 本市は狭あい道路が多く、大規模災害時には避難や応急対応業務に支障がでる恐れがあることから狭あい道路の拡幅などの対策を進めること。
- ② 台風襲来などにより大雨が発生した場合、市川南や鬼高、田尻などは浸水被害に見舞われるため排水能力を向上させること。
- ③ 外国人などへ対応するため避難に関する看板の多言語化を検討すること。

### ○災害対応体制の強化について

- ① 大規模災害時には市単独では対応できないため近隣市町村などとの連携を強化すること。
- ② 新たに開通した都市計画道路 3・4・18 号線を災害時に有効活用することについて検討すること。

## （２）備蓄グループの検討結果

### 【現状・課題】

#### ・市の現状

本市では、市民を対象とした防災講演会等で 3 日間分以上の食料や生活必需品の備蓄を啓発しているほか、市内 14 箇所に防災倉庫を設置し、資機材等を備蓄している。また、災害時に避難所になる小中学校 53 校と 1 つの義務教育学校にも防災倉庫を設置し、サバイバルフーズや毛布などの物資を備蓄している。また、市内に事業所や店舗が存在するコストコホールセールジャパン株式会社や株式会社セブンイレブンジャパンなどと災害時における物資供給に関する協定を締結し、大規模災害に備えている。

### 【備蓄食糧の啓発】



### 【物資供給に関する協定の締結】



#### ・BJ☆Project が考える課題

- ① 過去の大規模災害では、道路の閉塞や生産拠点の被災などにより物資の供給が困難になり、災害発生から 3 日間外部から救援物資が届かない状況が続くこともあった。
- ② 電気や水道などのライフラインも完全復旧するまでは 1 週間以上かかることが想定される。
- ③ 届けられた救援物資が被災地のニーズと合致しておらず、避難所や防災倉庫で無駄になってしまいうこともあった。
- ④ 全国から多数の救援物資が届けられたが、在庫管理や仕分けする能力を超え、救援物資の物流が低下したこともあった。

### 【防災女性プロジェクト（BJ☆Project）からの提言】

#### ○備蓄の啓発について

- ① 防災ポーチの啓発を行うこと。
- ② 家庭や事業所での備蓄を推進するため広報等で啓発を行うこと。
- ③ 乳幼児や高齢者など、それぞれ必要なものは異なるため減災マップなどに掲載されている備蓄品のチェックリストの見直しを行うこと。

#### ○要配慮者について

- ① 外国人用の備蓄品の拡充を行うこと。
- ② 乳幼児用の備蓄品の拡充を行うこと。

#### ○ペット同行避難対策について

- ① ペット同行避難用の備蓄品の拡充を行うこと。

#### ○公的備蓄の強化について

- ① 救援物資の受け入れ体制について整備を検討すること。
- ② 避難者が確認しやすいように備蓄食糧の成分表を作成すること。
- ③ 大規模災害時にも業務を継続できるように職員用の備蓄の拡充を行うこと。
- ④ 市が保有する防災倉庫だけに備蓄することは限界があるため流通備蓄を検討すること。
- ⑤ 市で備蓄が困難なものについて外部調達を検討すること。
- ⑥ コンビニやスーパーなどから食料提供してもらえるような協定の拡充を検討すること。



OBJ☆Project が考える各家庭の備蓄品リスト

《共通》

○食料

- ☐ 水
- ☐ レトルト食品・缶入りパン

○食料以外

- |                                         |                                           |                                     |
|-----------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> トイレtpーパー       | <input type="checkbox"/> カセットコンロ（ガスボンベ）   | <input type="checkbox"/> マスク        |
| <input type="checkbox"/> ランタン・ライト       | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ            | <input type="checkbox"/> 食品用ラップフィルム |
| <input type="checkbox"/> 眼鏡・コンタクトレンズの予備 | <input type="checkbox"/> 給水袋              | <input type="checkbox"/> スニーカー      |
| <input type="checkbox"/> 電池             | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ          | <input type="checkbox"/> 常備薬        |
| <input type="checkbox"/> ラジオ            | <input type="checkbox"/> 携帯電話（スマホ）用充電器    |                                     |
| <input type="checkbox"/> 消毒液            | <input type="checkbox"/> 工具               |                                     |
| <input type="checkbox"/> 衣類・使い捨て下着      | <input type="checkbox"/> 現金               |                                     |
| <input type="checkbox"/> 水不要せっけん・シャンプー  | <input type="checkbox"/> 身分証（コピー）         |                                     |
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ      | <input type="checkbox"/> 口腔ケア（マウスウォッシュなど） |                                     |

《乳幼児》

- ☐ 粉ミルク
- ☐ 離乳食
- ☐ オムツ
- ☐ おしりふき
- ☐ 哺乳瓶
- ☐ 哺乳瓶用消毒液
- ☐ お菓子

《高齢者》

- ☐ 入れ歯用洗浄剤
- ☐ オムツ
- ☐ 尿漏れパッド
- ☐ おしりふき
- ☐ 介護食

《女性》

- ☐ 生理用品
- ☐ 痛み止め

《ペット》

- ☐ ペットフード
- ☐ トイレ用品
- ☐ ケージ
- ☐ リード
- ☐ 移動用リュック

このほか、必要なものがあればリストに加えましょう！

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐



### （３）避難所グループの検討結果

#### 【現状・課題】

##### ・市の現状

本市では、平成 24 年度に九都県市防災訓練において宿泊型の避難所運営訓練を実施するとともに、避難所マニュアルを整備した。

また、平成 24 年度以降は自治会で実施する防災訓練や総合防災において避難所運営訓練を取り入れた訓練を実施している。

【避難所訓練の実施①】



【避難所訓練の実施②】



##### ・BJ☆Project が考える課題

- ① 大規模災害時には、行政も被災し、市職員だけでは避難所の管理・運営することは困難な状況になることも考えられ、避難者自身が避難所を管理・運営することが求められる。
- ② 避難所において女性用更衣室が設置されていない、男性だけで物資配布を行っていたため生理用品を受け取りにくいなどの女性への配慮がなされていないことがあった。
- ③ 乳幼児、要介護の高齢者や障がい者のための環境改善や支援が不十分で体調を崩したり、命の危険にさらされるなどの、様々な問題が発生した。
- ④ ペットを連れて避難所にやってきた避難者が避難所の受け入れ体制が整備されておらず、避難所に入れないことがあった。

## 【防災女性プロジェクト（BJ☆Project）からの提言】

### ○事前の備えについて

- ① 発災前から避難することを想定し、非常持ち出し袋の準備などを行うよう啓発すること。
- ② 休日や夜間に発災し、施設管理者や防災拠点要員等が参集できなかった場合でも避難所などを開設できる仕組みを構築すること。
- ③ 避難所から仮設住宅へ速やかに移行するためのフロー等の整備を行い早期に学校を再開できるようにすること。
- ④ 車中泊の対策について検討すること。

### ○避難所内のニーズの把握について

- ① 避難所における個々のニーズの早期把握ができるような仕組みを構築すること。

### ○避難所運営体制について

- ① 避難所運営に係る組織には多様な意見を反映するため、男女両方を配置すること。
- ② 固定的な性別役割分担（リーダーを男性、女性は調理など）にとらわれないようにすること。
- ③ 避難所で入手した個人情報の管理方法を検討すること。
- ④ 市民にわかりやすい避難所マニュアルの概要版や避難所で実際に活用できる運営フローを作成すること。

### ○避難所のトイレ対策について

- ① トイレは発災直後から必要であり、快適性を確保する簡易トイレ・仮設トイレなどの確保・管理について検討すること。
- ② 高齢者や障がい者等の使用が容易なトイレ（洋式便器）を多く確保することを検討すること。
- ③ 避難所の既設トイレの活用も考えられるため、既設トイレの洋式便器化を検討すること。
- ④ トイレの管理については、安全性や衛生・快適性、又は性別の区別をするなど配慮すること。
- ⑤ 簡易トイレのプライバシーが保てるよう、目隠しテントの必要数を確保すること。



### 【防災女性プロジェクト（BJ☆Project）からの提言】

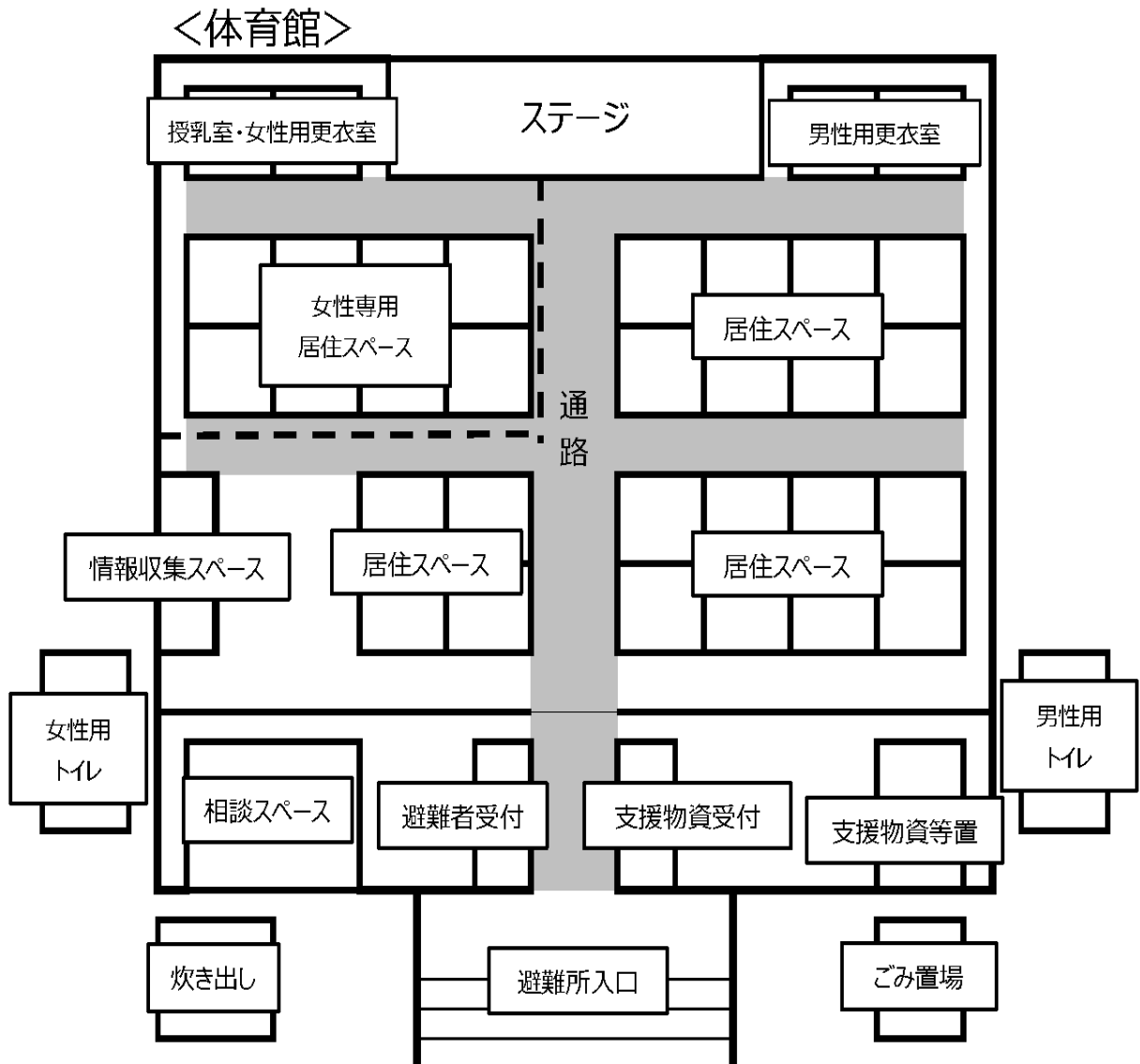
#### ○要配慮者対策について

- ① 要配慮者が、自ら迅速・容易に情報を発信しやすい避難者名簿を検討すること。
- ② 避難先で配慮を希望する事項がわかるよう事前に避難行動要支援者名簿への登録を推奨するとともに、障がい者手帳などを避難する時に持参するよう啓発すること。
- ③ 要配慮者のニーズの把握やケアを行えるようプライバシーに配慮し、リクエストボックスや相談窓口の設置、相談員による巡回を行うこと。
- ④ 障がい者や妊産婦、外国人等が落ち着けるスペースを設置すること。
- ⑤ 避難所内の情報を多言語で表示すること。
- ⑥ 避難所内の通路を車椅子が通れる幅にすること。
- ⑦ 避難所では子どもの心身のケアを行うとともに、子どもにも避難所の支援活動に参加できるようにすること。
- ⑧ 福祉避難所の運営体制について整備すること。

#### ○ペット同行避難対策について

- ① ペット同行避難可能な避難所を開設すること。

BJ☆Project が検討した避難所レイアウト（案）



※通路は車椅子が通れる幅にする。

※女性専用のスペースを作り、周りから見えないような工夫が必要である。

※様々なニーズを把握するため各種相談スペースを設置する必要がある。

※災害発生後は被災地の治安が悪化することも想定されることから避難所や周辺地域の防犯活動を実施する必要がある。

#### (4) その他の防災施策に関する提言

##### 【防災女性プロジェクト（BJ☆Project）からの提言】

###### ○市民啓発について

- ① 要配慮者が参加できる防災訓練を検討すること。
- ② 安否確認タオル（白色タオル運動）の啓発を検討すること。

###### ○市職員の防災力の向上について

- ① 市職員の防災意識の向上を図ること。
- ② 市職員全てに対し、避難所マニュアルなどの理解の向上を図ること。
- ③ 市職員が災害時に継続して勤務ができるように休息場所などの空間を設置すること。

###### ○要配慮者対策について

- ① 避難勧告等の広報文をやさしい日本語などに変更することを検討すること。

###### ○帰宅困難者対策について

- ① 帰宅困難者対策の推進を図ること。

###### ○女性への配慮について

- ① 防災女性プロジェクトのような女性からの意見を反映できるような体制を継続して設置するよう検討すること。

## 4 まとめ

本提言書の作成にあたり、資機材の取り扱い訓練、初期消火訓練、水防訓練などの訓練や西部防災センター、そなエリアでの災害体験、宮城県岩沼市・千葉県旭市への東日本大震災被災地視察など様々な体験学習、市川市赤十字奉仕団との意見交換会、グループ研究などの研究を23回行いました。

体験学習期間の東日本大震災の被災地視察では、実際に災害対応に従事した市職員や社会福祉協議会の職員との意見交換、避難所や仮設住宅で避難生活を送った地域住民との座談会を実施し、実際の災害時における状況を直接聞くことができました。本市では、これまで大規模災害への対応を経験していなかったことから今回実際に被災地を訪問し、災害対応に従事した職員との意見交換や地域住民との座談会を実施できたことは非常に有意義なものとなりました。

また、研究期間ではこれまで女性の視点が十分に反映されていなかった「防災まちづくり」、「備蓄」、「避難所」の3つのグループに分かれ、本市の現状や過去の災害の様子を確認し、本市の課題を研究しました。さらに、様々な活動を行っている市川市赤十字奉仕団と、大規模災害時における行政の課題について意見交換を行いました。

今後については、本提言を基に本市の防災施策を見直し、災害への備えや災害発生後の避難所運営及び被災者支援のあり方、復旧復興対策が更に強化・推進されることを期待します。

## 5 資料

### (1) 防災女性プロジェクト・チームの設置等に関する要綱

#### (趣旨)

第1条 この要綱は、市川市プロジェクト・チームの設置等に関する規程（平成16年3月31日訓令第4号）第2条第2号に規定する兼務プロジェクト・チームの設置等に関し必要な事項を定めるものとする。

#### (名称)

第2条 前条の兼務プロジェクト・チームの名称は、防災女性プロジェクト・チーム（以下「BJ☆Project」という。）とする。

#### (設置目的)

第3条 BJ☆Project は、本市の災害対策の強化を図るため、女性の視点から災害への備えや復旧対策等について検討するものとする。

#### (所掌事務)

第4条 BJ☆Project の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 女性の視点に立った防災対策、啓発活動等事前の備えに関すること。
- (2) 女性の視点に立った災害発生後の避難所運営及び被災者支援のあり方、復旧対策等に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、女性の視点に立った災害対策に関する事項

#### (構成員)

第5条 BJ☆Project は、本市女性職員20名以内で構成する。

2 BJ☆Project 全体にリーダー及びサブリーダーを各1人置く。

3 リーダーは BJ☆Project の事務を統理するものとし、サブリーダーは、リーダーを補佐し、リーダーに事故があるとき又はリーダーが欠けたときは、その職務を行う。

#### (設置期間)

第6条 BJ☆Project の設置は、平成29年3月31日までとする。ただし、必要があるときは、BJ☆Project で協議して期間を設定することができる。

#### (会議)

第7条 BJ☆Project は、リーダーが招集し、進行する。

#### (庶務)

第8条 BJ☆Project の庶務は、危機管理室において処理する。

#### 附 則

この要綱は、平成28年1月 5日から施行する。

## (2) 防災女性プロジェクト (BJ☆Project) の活動内容

### 【体験学習期間】

| 第1回 オリエンテーション  |                                                                                                                                                                                                           |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時           | 平成 28 年 1 月 25 日 (月)                                                                                                                                                                                      |
| 活動場所           | 市川市役所 第2委員会室                                                                                                                                                                                              |
| 活動内容           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・危機管理監講座</li> </ul>                                                                                                                            |
| 活動を終えての主な意見・感想 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別講演会やオリエンテーションは大変わかりやすく様々な危機があることが分かりました。また市川市の様々な地形があることがあらためて分かりました。これからのプロジェクトの経験を生かし、反映できれば良いと思っております。</li> <li>・いろいろな部署の女性が集まり、意見や考えを交わすのが楽しみです。</li> </ul> |
| 活動の様子          |                                     |

| 第2回 災害体験 (西部防災センター視察) |                                                                                                                                                                            |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時                  | 平成 28 年 2 月 12 日 (金)                                                                                                                                                       |
| 活動場所                  | 西部防災センター                                                                                                                                                                   |
| 活動内容                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震体験</li> <li>・風水害体験</li> </ul>                                                                                                    |
| 活動を終えての主な意見・感想        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震体験は震度7クラスを体験し、自分が想像していたよりも、はるかに恐ろしく動くことさえ出来ないことが良く分かりました。</li> <li>・災害を自分に身近なものにとらえ、災害に備えるためには何をしたらいいのか考えるきっかけになりました。</li> </ul> |
| 活動の様子                 |    |

| 第3回 資機材取り扱い訓練  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時           | 平成 28 年 3 月 24 日（木）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 活動場所           | 大洲防災公園                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 活動内容           | ・資機材取り扱い訓練                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 活動を終えての主な意見・感想 | ・どれも初めて扱う資機材でしたので、とても興味深かったです。今回私達が勉強した資機材は、災害時に無くてはならない物だと思いますので、もっと多くの人に取り扱い方を学ぶ機会があると良いと思いました。                                                                                                                                                                                                                                             |
| 活動の様子          |     |

| 第4回 応急救護訓練     |                                                                                                                                                                           |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時           | 平成 28 年 4 月 15 日（金）                                                                                                                                                       |
| 活動場所           | 消防局                                                                                                                                                                       |
| 活動内容           | ・応急救護訓練                                                                                                                                                                   |
| 活動を終えての主な意見・感想 | ・一人で心肺蘇生法を続けるのは体力的にもとても大変で、いざという時は多くの人の協力が必要だと感じました。                                                                                                                      |
| 活動の様子          |   |

| 第 5 回 被災地視察（宮城県岩沼市視察） |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時                  | 平成 28 年 3 月 25 日（金）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 活動場所                  | 宮城県岩沼市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 活動内容                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅視察</li> <li>・岩沼市職員との意見交換</li> <li>・集団移転した住民との座談会</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 活動を終えての主な意見・感想        | <p>・避難時に重宝するのはタオルだということが目からうろこの情報でした。普段の生活で使っているものなので、自宅の防災グッズのひとつとして考えていませんでした。防災グッズリストに加えなければならないと思いました。今回の視察では、岩沼市の災害対応や復興に大きな役割を果たしたものが「コミュニティの力」「地域のつながり」だということが分かりました。しかし、市川市ではこれからご近所付き合いを増やしていく環境を作るというのはなかなか難しいと思います。「地域のつながり」に代わる仕組みなどを見つける必要があると感じました。</p> <p>・一日を通して感じたことは、コミュニケーションをとることが万一災害が起きても、色々なトラブルを最小限にいとめられるのではないかと思います。なかなかコミュニケーションをとることは難しいと思いますが、今後心がけていきたいと思いますし、市民の方にも「被災地の直接の声」として届けていきたいと思っています。</p> |
| 活動の様子                 |                                                                                    |



| 第 6 回 初期消火訓練   |                                                                                                                                                                       |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時           | 平成 28 年 5 月 17 日（火）                                                                                                                                                   |
| 活動場所           | 北消防署                                                                                                                                                                  |
| 活動内容           | ・初期消火訓練                                                                                                                                                               |
| 活動を終えての主な意見・感想 | ・手順を確認することで実際に火事に遭遇した際には落ち着いてできるのではないかとあらためて感じました。                                                                                                                    |
| 活動の様子          |   |

| 第 7 回 防災特別講演会  |                                                                                                                                                                           |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時           | 平成 28 年 5 月 7 日（土）                                                                                                                                                        |
| 活動場所           | 千葉商科大学                                                                                                                                                                    |
| 活動内容           | ・防災特別講演会（旧山古志村 村長 長島氏）                                                                                                                                                    |
| 活動を終えての主な意見・感想 | ・大災害を経験し、その対応の指揮をとられた人の話は興味深かったです。山古志村と市川市では人口などは違うが、災害に対する備えが重要なのは変わらないことを再認識した。                                                                                         |
| 活動の様子          |   |

| 第 8 回 自衛隊 1 日入隊（陸上自衛隊松戸駐屯地視察） |                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時                          | 平成 28 年 5 月 31 日（火）                                                                                                                                                       |
| 活動場所                          | 陸上自衛隊松戸駐屯地                                                                                                                                                                |
| 活動内容                          | 自衛隊視察                                                                                                                                                                     |
| 活動を終えての主な意見・感想                | ・野外給食の見学では、自衛隊の機動力を心強く感じました。実際に、調理をしている現場を拝見して、具体的な説明をいただき、給水及び排水、車両移動のスペース、動線等様々な要素を考慮していくことが必要なことを理解しました。                                                               |
| 活動の様子                         |   |

| 第 9 回 気象予報体験（ウェザーニューズ社視察） |                                                                                                                                                                       |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時                      | 平成 28 年 6 月 27 日（月）                                                                                                                                                   |
| 活動場所                      | 株式会社ウェザーニューズ社                                                                                                                                                         |
| 活動内容                      | 株式会社ウェザーニューズ社                                                                                                                                                         |
| 活動を終えての主な意見・感想            | ・巨大化する災害や都市の情勢を考えるとスペシャリストでなければ災害対応は難しいと痛切に感じました。                                                                                                                     |
| 活動の様子                     |   |

| 第 10 回 水防訓練（ボートによる避難訓練） |                                                                                                                                                                           |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時                    | 平成 28 年 7 月 5 日（火）                                                                                                                                                        |
| 活動場所                    | クリーンスパ市川                                                                                                                                                                  |
| 活動内容                    | ・水難救助訓練（ボートによる避難訓練）                                                                                                                                                       |
| 活動を終えての主な意見・感想          | ・実際に避難する時は、恐怖や不安を感じての避難だと思うので、ボートの安定性や安全性を知っていることは重要だと思いました。                                                                                                              |
| 活動の様子                   |   |

| 第 11 回 避難者体験（非常食の試食など） |                                                                                                                                                                           |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時                   | 平成 28 年 7 月 21 日（木）                                                                                                                                                       |
| 活動場所                   | 消防局                                                                                                                                                                       |
| 活動内容                   | ・非常食の試食、資機材体験                                                                                                                                                             |
| 活動を終えての主な意見・感想         | ・災害時に使用するシートや段ボールベッドに寝転んだりしましたが、固い床で生活するにあたっては、欠かせないもののだと思いました。                                                                                                           |
| 活動の様子                  |   |

| 第 12 回 被災地視察（千葉県旭市視察） |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時                  | 平成 28 年 7 月 26 日（火）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 活動場所                  | 千葉県旭市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 活動内容                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・旭市社会福祉協議会との意見交換</li> <li>・旭市防災資料館視察</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 活動を終えての主な意見・感想        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろの備えが大事とは言いますが、有事の際には不測の事態ばかりで、その時その時で必要な物資が変わるからアドバイスの難しいという言葉が衝撃的でした。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                  |
| 活動の様子                 |     |

| 第 13 回 防災施設視察（そなエリア視察） |                                                                                                                                                                           |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時                   | 平成 28 年 8 月 18 日（木）                                                                                                                                                       |
| 活動場所                   | そなエリア                                                                                                                                                                     |
| 活動内容                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・そなエリア視察</li> </ul>                                                                                                                |
| 活動を終えての主な意見・感想         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつ起きるかわからない震災では自宅、職場、外出先、電車の中、車を運転中なので、その後の行動がまったく違うため、自分なりに色々なパターンに備えることが大切だと思います。</li> </ul>                                    |
| 活動の様子                  |   |

| 第 14 回 総合火力演習視察 |                                                                                                                                                                       |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時            | 平成 28 年 8 月 25 日（木）                                                                                                                                                   |
| 活動場所            | 東富士演習場                                                                                                                                                                |
| 活動内容            | ・自衛隊総合火力演習視察                                                                                                                                                          |
| 活動を終えての主な意見・感想  | ・自衛隊が日々、国防のために訓練を行っているということは存じてはいましたが、実際に見ることで、改めて、自衛隊による国防の凄さを実感しました。                                                                                                |
| 活動の様子           |   |

| 第 15 回 総合防災訓練（市民啓発） |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時                | 平成 28 年 8 月 28 日（日）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 活動場所                | 第 6 中学校、鬼高小学校、大洲防災公園                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 活動内容                | ・市民啓発活動<br>・災害ボランティアネットアーク野営訓練                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 活動を終えての主な意見・感想      | ・鬼高小学校の避難所訓練を見学させていただきましたが、実際多くの市民の方が体育館に集まると、体育館がものすごく狭く感じました。また、当日は涼しかったにもかかわらず、体育館の中はものすごく暑かったです。                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 活動の様子               |  <br>  |

【研究期間】

| 第 16 回 グループ研究 |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| 実施日時          | 平成 28 年 9 月 20 日（火）                 |
| 活動場所          | 消防局                                 |
| 活動内容          | ・グループ分け<br>・グループ研究の進め方説明<br>・グループ研究 |
| グループ研究テーマ     | 「市職員として災害時に必要だと思う物資や支援は？」           |

| 第 17 回 グループ研究 |                                                                                                                                   |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時          | 平成 28 年 9 月 30 日（金）                                                                                                               |
| 活動場所          | 市川市役所 第 1 委員会室                                                                                                                    |
| 活動内容          | ・グループ研究                                                                                                                           |
| グループ研究テーマ     | 防災まちづくりグループ<br>「北西部の危険箇所の把握及び対策の検討」<br>備蓄グループ<br>「発災直後から 7 日間に必要な物資（人・モノなど）の洗い出し（被災者用）」<br>避難所グループ<br>「避難所レイアウト及び避難所で必要とされる支援の検討」 |

| 第 18 回 グループ研究 |                                                                                                                      |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時          | 平成 28 年 10 月 14 日（金）                                                                                                 |
| 活動場所          | 市川市役所 第 6 委員会室                                                                                                       |
| 活動内容          | ・グループ研究                                                                                                              |
| グループ研究テーマ     | 防災まちづくりグループ<br>「北東部の危険箇所の把握及び対策の検討」<br>備蓄グループ<br>「発災直後から 7 日間に必要な物資の洗い出し」<br>避難所グループ<br>「避難所マニュアルに記載されている業務担当の割合を検討」 |



| 第 19 回 意見交換会（市川市赤十字奉仕団） |                                                                                                                                                                       |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時                    | 平成 28 年 9 月 20 日（火）                                                                                                                                                   |
| 活動場所                    | 市川市役所 第 6 委員会室                                                                                                                                                        |
| 活動内容                    | ・市川市赤十字奉仕団との意見交換会<br>（※KJ 法を用いて意見交換を実施）                                                                                                                               |
| 意見交換会テーマ                | 熊本地震及び東日本大震災における行政の課題や問題点                                                                                                                                             |
| 活動の様子                   |   |

| 第 20 回 グループ研究 |                                                                                                          |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時          | 平成 28 年 11 月 11 日（金）                                                                                     |
| 活動場所          | 市川市役所 第 6 委員会室                                                                                           |
| 活動内容          | ・グループ研究                                                                                                  |
| グループ研究テーマ     | 防災まちづくりグループ<br>「中部の危険箇所の把握及び対策の検討」<br>備蓄グループ<br>「発災直後から 7 日間に必要な物資の洗い出し」<br>避難所グループ<br>「避難所におけるペット対策を検討」 |

| 第 21 回 グループ研究 |                                                                                                                         |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時          | 平成 28 年 11 月 22 日（火）                                                                                                    |
| 活動場所          | 市川市役所 第 6 委員会室                                                                                                          |
| 活動内容          | ・グループ研究                                                                                                                 |
| グループ研究テーマ     | 防災まちづくりグループ<br>「南部の危険箇所の把握及び対策の検討」<br>備蓄グループ<br>「発災直後から 7 日間に必要な物資（人・モノなど）の洗い出し（被災者用）」<br>避難所グループ<br>「避難所における要配慮者対策を検討」 |

| 第 22 回 市長提言の検討 |                           |
|----------------|---------------------------|
| 実施日時           | 平成 28 年 12 月 1 日（木）       |
| 活動場所           | 市川市役所 第 6 委員会室            |
| 活動内容           | ・市長提言の検討                  |
| 検討方法           | グループ研究の成果の中から市長へ提言する内容を検討 |

| 第 23 回 市長提言の検討 |                           |
|----------------|---------------------------|
| 実施日時           | 平成 28 年 12 月 16 日（金）      |
| 活動場所           | 市川市役所 第 6 委員会室            |
| 活動内容           | ・市長提言の検討                  |
| 検討方法           | グループ研究の成果の中から市長へ提言する内容を検討 |

| 第 24 回 市長提言 |                      |
|-------------|----------------------|
| 実施日時        | 平成 28 年 12 月 26 日（月） |
| 活動場所        | 理事者控え室               |
| 活動内容        | ・市長提言                |

